

特別な教育的ニーズのある生徒のための調査（中学生用 1 次調査）

特別な教育的ニーズのある生徒に気づくための資料

特別な教育的ニーズのある子どもによく見られる項目が、以下に示されています。該当項目を表に記入してください。また、表とは別に気づいていることがありましたら特記事項に自由にお書きください。あてはまる項目があったら、記入表に（例：1 - (1) - ）のように記入してください。特記事項の欄には（嫌になると教室から出てしまう。授業に参加しない）など、具体的に記述してください。中学校での調査の場合には、学級担任が全てをみているわけではないので、教科担任等との連携を図った上でご記入ください。

1 学習面での問題

(1) 学習態度、参加について

- 授業中、席に座っていられずに立ち歩くことがある。
- 教室からとびだしてしまうことがある。
- 授業とは関係のない発言を繰り返すことがある。
- 授業中、関係のない遊びや手悪戯をしていて授業に参加しないことがある。
- 友だちと一緒に活動ができず、一人でふらふらしていることがある。
- 板書事項を正しくノートに書き写すことができない。

(2) 学習の内容について

- 聞き間違いが目立つ。
- 読み書きできない文字が多い。（平仮名、カタカナ、小学生程度の漢字、アルファベット）
- 読み飛ばし、読み間違いが目立つ。
- 文章の要点を正しく理解できないことが多い。
- 読みにくい文字を書く。（字の形や大きさが整わない。細部の書き間違いが多い）
- 英語が極端にできない。
- 数学が極端にできない。
- 理解できていると思えるのに、試験の成績が極端に低い。

2 生活上での問題

(1) 身の整理

- 机の回りがいつも散乱していて片付けられない。
- 自分の持ち物をよくなくす。
- 次の時間の学習の準備ができないことが頻繁にある。
- 課題や作品を最後までやり遂げられないことが多い。
- 忘れ物が多く、学習にさしさわりがある。

(2) 行動の面

いつもそわそわしていて、落ち着かない。
話しかけられているのに、しばしば聞いていないように見える。
人のものをとったり、こわしたりしてしまう。(悪意ではなく)
つい、人の作業のじゃまになることをしてしまう。
ちょっとした(些細な)ことで怒り出すことがある。
ルールに従って、スポーツや遊び等に参加することが難しい。

3 友だちとの関係

年齢相応の仲間関係を作ることが難しい。
友だちと、よくトラブルをおこす。
友だちとかわからず、一人で行動していることが多い、あるいは、気に入った友だちに対して極端にしつこく関わる。
班活動等で、友だちと協力して取り組むことが難しい。
相手の気持ちや場の状況を察して行動することが難しい。
「きまり」が守れず、わがままな言動や自己中心的な行動が目立つ。

4 運動面

走り方がぎこちなかったり、複雑な動作をすることが苦手だったりする。
手先が不器用である。
授業中や「気をつけ」の時に、同じ姿勢を保っていることが苦手である。

5 情緒・感情面

すぐに泣き出し、なかなか泣き止まない。
カッとなって、怒り出し、暴れる。(すぐにキレル)
周囲が理解できない理由で、パニックになることがある。
感情表現が少ない。
間違ったり失敗したりすると、極端にふさぎ込んで不安定になる。
予定が急に変更になると不安定になる。

6 その他

上記項目に当てはまらない問題で気になっていることがありましたら、特記事項にご記入ください。
すでに長期欠席の傾向にある。または長期欠席の状態になってしまっている生徒は、特記事項にご記入ください。

現在、気になっている子の記入表

資料を参考にして、クラスで気になる子を全て下表にご記入ください。

学級 ()

記入者氏名 ()

NO	児童生徒氏名 (イニシャル)	資料該当項目 (例) 1 - (2) - 、	特 記 事 項 (例)文章が読めない。
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			